特定非営利活動法人 幸ハウス

大切にしたいものを 大切にできる場所

- サチハウス -
SACHI
HOUSE
inspired by Maggies

1周年 活動のご報告

2019年2月

はじめに

History

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスが生まれるまで

私が初めて触れた死は、７歳の時に見た祖父の死でした。

癌で闘病中にお見舞いに行き、変わり果てた様子を見て愕然としました。

痛みや苦しみに耐え続けることに疲れ果てた祖父をみて、
「病気なって死ぬということは、こんなにも苦しいことなの…。」と思いました。

祖父を看取ったことで、
私の人生のテーマは「いかに生きて、いかに死ぬか」ということになりました。

その体験もあり、高校時代はドイツのホスピスでボランティアをし、病院とは違う空間で、
たくさんの人に囲まれ、穏やかに過ごす患者さんに触れました。

できることに制限はあっても、その人らしさを存分に発揮し、
死と向き合いながら素敵な時間を過ごしていました。

そこにいるみなさんは、**病気になっても病人にはなっていませんでした。**

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスが生まれるまで

そこで忘れることのできない体験をしました。
それは、お庭で読書をしながら眠るように亡くなる、最期の瞬間に立ち会ったことです。

祖父の苦しむ姿を見てからずっと心に引っかかっていた、
人間の最期の姿。

このとき、ようやく答えを見つけ、このご老人のような
安らかな死を迎えるお手伝いがしたいと医師になりました。

ドイツでのホスピスの経験から、病気であろうとなかろうと、
最期まで自分が大切にしている思いを大切にできることで、
誰もが穏やかな生き方ができ、穏やかな最期を迎えられることができる。

その後、私は病院勤務を通じて様々な医療従事者や患者さんに出会ってきました。

そんな中で、日本の今の病院は「治療」に特化されており、
自分の「生きる」を受け入れ、本来の自分と向き合う場所がないと感じることがありました。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスが生まれるまで

癌の治療のために病院にきた患者さんが、自分のこころや考え方と向き合えるような場所。

病気になっても大切にしたいものを大切にできる生き方を、落ち着いて探せる場所。

看護師や傾聴トレーニングを受けたサポーターに、ゆっくり話を聞いてもらえる場所。

病院は身体の痛みと向き合う場所なら、精神的な苦しみと向き合うための場所。

日本に、そのような場所を増やしたい。

そして、**NPO法人〈幸ハウス〉**を立ち上げ、
第一拠点としてできあがったのが、**川村病院に隣接する〈幸ハウス・富士〉**です。

〈幸ハウス〉が生まれるまでのストーリーは、こちらの動画でもご紹介しています

ドリームプラン・プレゼンテーション10周年アニバーサリー（2017年）より
「今を大切にできる病院～人生の最後まで自分らしさを失わない～」

▶ https://www.youtube.com/watch?v=NoxOpGZk5ww

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

特定非営利活動法人幸ハウス 代表理事　川村 真妃

プロフィール

東海大学医学部卒業。大学卒業後、遼寧中医学大学付属日本中医薬学院で一年間東洋医学を勉強する。その後、三重大学医学部附属病院、鈴鹿中央病院および慈恵医科大学附属病院勤務を経て、公益財団法人 五井平和財団常務理事に就任。命の尊厳、多様性の尊重が守られる未来構築の為の活動に従事する。

川村病院理事就任後は、病気になっても自分が大切にするものを大切にできる場、幸ハウス・富士を設立。その運営母体に当たるNPO法人幸ハウスを立ち上げ現在に至る。

1周年のご挨拶

この度、NPO法人幸ハウスは３月７日で１周年を迎えます。この１年間幸ハウス富士の立ち上げをはじめ、死生観を深めるワークショップを開催させていただきました。幸ハウス富士では、がんの患者様、ご家族が病と闘う辛い時期に自分を取り戻すお手伝いをさせて頂いてきました。

私達がこのように活動し成長していけるのは、皆様のご支援のお陰であり、感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いします。

▶ NPO法人設立1周年記念 報告会&感謝イベントの詳細はこちら

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスとは

Mission & Concept

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスのミッション

病気になっても病人にならない社会 をつくる

私たちは、癌サバイバーさんをはじめ、様々な能力をお持ちの方々と共に、
病気になっても病人にならない社会をつくります。

私たちが考える病気になっても病人にならない社会とは、
関わる人すべて※が、
自分の想いを大切にできて自らの生き方（死に方）を選べる社会 です。

※ここでいう関わる人すべてとは、患者、その家族、ボランティアです。

そのような社会の実現のために、私たちは次の2つのミッションを持っています。

Mission 1	患者さんが、自分の生き方を考えるための寄り添う居場所を日本中につくる
Mission 2	誰もが死生観を語り合える場をつくる

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスのミッション

Mission 1 患者さんが、自分の生き方を考えるための寄り添う居場所を日本中につくる

病院に隣接した施設＜幸ハウス＞の全国展開を目指しています。

＜幸ハウス＞という場をつくりたいという病院向けに、
立ち上げのためのノウハウ共有や人材の育成、コンテンツ提供など、
＜幸ハウス＞を 立ち上げて、継続運営していくために必要なことを総合的に支援します。

現在は、2018年3月にオープンした最初の拠点である＜幸ハウス・富士＞が
安定して継続運営できるビジネスモデルになり、
＜幸ハウス＞が別地域でも展開可能になるための仕組みづくりに取り組んでいます。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスのミッション

Mission 1 患者さんが、自分の生き方を考えるための寄り添う居場所を日本中につくる

〈幸ハウス富士〉の開設 ：2018年3月7日～

〈幸ハウス〉は癌患者さん、ご家族、ご友人が、 戸惑いの中、自分らしい生き方や医療を選ぶことをサポートする場所です。最初の拠点が静岡県の川村病院の隣に開設しました。

詳しくは、「幸ハウス富士」でご紹介していきます。

医療従事者向けの研修の提供 ：2018年3月～

医療従事者が、従来の治療中心の関わり方に加え、患者さんの生き方/あり方中心の関わり方への学びの機会のひとつとして研修を提供しています。

2018年は、幸ハウスの理事であり、シャローム病院・緩和ケア病棟看護師長・緩和ケア認定看護師の大島英子先生を講師に迎え、ELNEC J 研修会を、計3回開催しました。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスのミッション

Mission 2 誰もが死生観を語り合える場をつくる

自分らしい生き方（死に方）を考えるために、
日常生活の中で普通に死生観を語り合える文化をつくる ことで、

幸ハウスに関わる人すべてが、
病気になっても自分の想いを大切にできて、自分らしい人生を選べる社会を目指しています。

2018年から、死生観を考えるためのさまざまなイベントを企画・開催中です。

今後も、定期的にイベントやセミナーやシンポジウムなど開催し、話題性を上げ、
誰もが死生観を語り合える文化を醸成し、
病気になっても自分らしい人生を選べる社会の実現を目指しています。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスのミッション

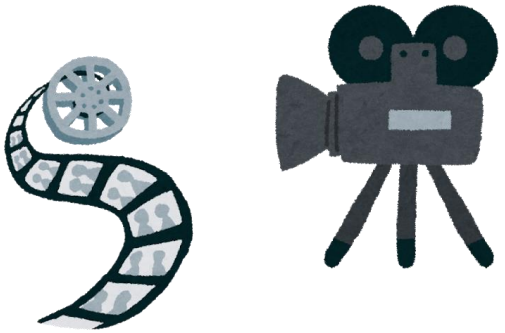
Mission 2 誰もが死生観を語り合える場をつくる

「Death Café」の開催

Death Cafe は2010年にイギリスではじまったイベント。

今回は幸ハウスにつどい、それぞれが理想の死の在り方や、過去の臨死体験、お葬式など……思いつくままに語られる様々な人の死生観にふれながら、自らの死生観を深めたり考えたりするきっかけを得られる場となりました。

死生観をテーマにした映画の上映



ドキュメント映画 Death makes life possible
「死を知ることで、生はより輝く～あなたが誰かを知るために～」
の映画上映や対話会などを行いました。

この映画は死ということを様々な人の価値観を通して見つめ直すことによって、自分の中の死生観のあり方を見つめ直すキッカケになり、今後どう生きていくかを考えさせてくれます。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

Fuji

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

幸ハウス富士とは

幸ハウス富士は、癌患者さん、ご家族、ご友人が、
戸惑いの中、**自分らしい生き方や医療を選ぶこと**をサポートする場所です。

医療機関ではなく、宿泊施設もありません。
治療、検査を行ったり、セカンドオピニオンを提供する場所でもありません。

患者さんご自身が**大切にしている想いや考えを尊重し何より大切にします。**

幸ハウス富士　基本情報

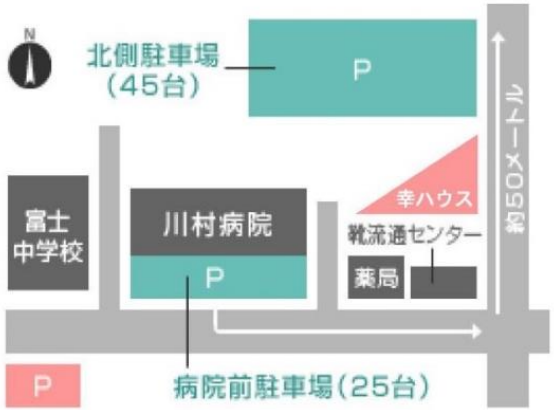
＊　開放日時　＊

水曜10:00-16:00（祝日休）

＊　場所　＊

川村病院の隣、三角の建物

（静岡県富士市松本357-1）



※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士でできること

お茶を飲んだり、本を読んだりしながら
ゆっくり**自分の時間を過ごす**ことができます。

看護師や傾聴トレーニングを受けたサポーターに
ゆっくり話を聞いてもらえます。

病気になっても大切にしたいものを大切にできる生き方を**一緒に考えて**もらえます。

自分で決める力を取り戻すきっかけを探すことができます。

癌についてあるたくさんの情報から
自分に必要な情報を選ぶお手伝いをします。

患者さんや家族が参加できる**プログラム**を提供いたします。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

開催プログラムの例

Café de Monk（カフェデモンク）

東北大震災を機に始まった様々な宗教者が宗派を超えて１つにつながり運営する傾聴カフェです。現在、緩和ケア病棟などに少しずつその広がりを見せています。

幸ハウスでは、理事の大島英子さんのご縁を通じて幸ハウスも金田老師よりカフェデモンクの看板（のれん分け）を頂戴する事が出来ました。

リラックスヨガ

リラックスヨガでは、無理なく座ってできる肩や首をほぐす動きや、足のツボマッサージ、心を落ち着かせる事ができる呼吸法を学びます。

終わった後は、温かいハーブティーを飲みながら、先生とみなさんでお茶タイム。自然と治療の事や最近の体調の事などを語らうことも。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

開催プログラムの例

お抹茶一服いかがですか

お釜で湯を沸かし、訪問看護師の山口さんがお茶をたて、もてなしてくださいます。

お釜を含めたお茶のお道具一式は、幸ハウスで使ってくださいと、地域の方々から寄贈してくださいました。

夏は冷たいお抹茶を水羊羹と一緒に美味しく頂いたり。季節ごとの楽しみを感じられるところも魅力的なプログラムです。

アロマセラピー

久保田泉先生によるアロマテラピー講座では、香りを楽しみながら精油ができるまでのストーリーなどを聞くことができます。

さまざまな精油の歴史や繋がりを聞いた後にまた香りを嗅ぐと、愛しかったり懐かしかったり。香りと共にさまざまな気持ちが浮かび、より深く味わうことができます。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

2018年3月～2019年1月の利用状況

約1年間の総利用者数 （水曜開放日の利用者数）	452名 ［当事者：300名、その他（ご家族・ご友人など）152名］

2018年3月	21名	9月	39名
4月	32名	10月	59名
5月	38名	11月	48名
6月	31名	12月	54名
7月	32名	2019年1月	25名
8月	53名		

「実際にどのような方がいらっしゃるのか」「どのようなことが起きているのか」といった部分は、非常にセンシティブな情報が含まれますので、NPO法人設立1周年記念 報告会&感謝イベントなどで、丁寧に慎重にお伝えしていきたいと考えております。

▶ NPO法人設立1周年記念 報告会&感謝イベントの詳細はこちら

幸ハウスの毎週の様子は、Facebook（ https://www.facebook.com/sachihouseorg/）からも発信しております。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

2018年3月～2019年1月のイベント※開催状況

※水曜の開放日に行うプログラムとは別の特別企画

イベント開催数	13回	参加者総数	181名

2018年3月	内覧会：150名 ELNEC-J： 5 名
4月	説明会：5名 Readyforリターン：2名
5月	記憶のアトリエ：18名
6月	Death Café：7名
7月	意思決定支援：10名 ELNEC-J：11名
9月	アイのポスト：12名
10月	ELNEC-J：6名
11月	記憶のアトリエ：15名 トークイベント：15名
12月	クリスマス会：50名

各イベントの様子は、Facebook（ https://www.facebook.com/sachihouseorg/）からも発信しております。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

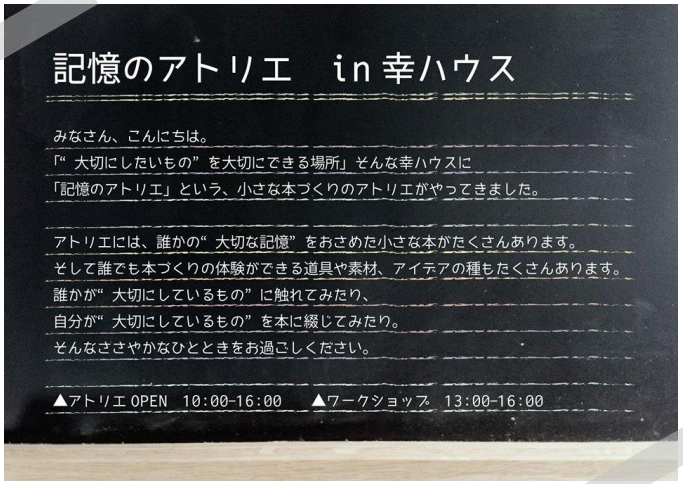
幸ハウス富士

開催したイベントの例

記憶のアトリエ

「記憶のアトリエ」は、誰かの“大切な記憶”に触れたり、あなたの“大切な記憶”綴じる、小さなアトリエです。

ZINE作家の藤田さんが、絨毛がんから寛解後に、記憶をテーマに、身の回りの道具や素材を使って作る可愛い手作り本を様々な方々と紡がれてこられたイベントを幸ハウスでも開催しました。



アイのポスト

写真家の楢侑子さんが乳がんになったとき、「生きていることは当たり前でないんだ。日常の中の嬉しい記憶を、足跡がわりに残していこう」という思いからできたプログラムです。

自分にとっての幸せや愛を考え、それと繋がろうとする意識を持って1日を過ごすことで、普段の日常にいつもと違う色が加わり、豊かさに気付ける大事な時間となりました。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウス富士

開催したイベントの例

トークイベント

「がんという病気をとおして経験したこと 人生が変わったターニングポイント」というテーマで、がん患者会 with a cancerのおふたりにお話していただきました。

がんになる前、がんを告知されたとき、そしてその後。悩んだこと、助けられたこと、乗り越えてきた物事や感情。病気とどのように向き合ってきたのか、経験を交えてのメッセージが心に響きました。

クリスマス会

幸ハウスに毎週こられている方々、そのご家族、幸ハウスを応援して下さっている看護師の方々、幸ハウスを大切に思って下さっている方々が集まって下さいました。

バルーンアートや愛情たっぷりのスープ、その場で聞いた言葉を紡いで歌を作ることができる素晴らしいシンガーソングライターさんによるコンサート。あっという間の３時間。感無量でした。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの歩み

Journey

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの歩み

2019年3月
1周年記念企画開催

2018年3月7日
幸ハウス富士のオープン
NPO法人設立

2017年9月
クラウドファンディングで約330万の支援

2017年3月
ドリプラ世界大会10周年アニバーサリー
『共感大賞』 受賞

2017年
幸ハウスが影響を受けた団体
ロンドンのマギーズセンター長が来訪

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの歩み

2017年1月29日： NHK総合情報番組 「サキどり」

2017年4月：情報誌アウターネット

2018年3月：岳南朝日新聞

2018年3月：富士ニュース

2019年1月：静岡第一テレビ「news every」

など

2018年12月：architecture master prize受賞

〈幸ハウス・富士〉が、世界でも最も権威ある建築デザイン賞の一つ、2018年の病院部門で受賞しました。
設計して頂いた太刀川英輔さんに、この場をかりて感謝申し上げます。

▶ https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=3467

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

これからの幸ハウス

Future

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの未来

2018年3月~2019年1月の活動経費の記録

入金の記録	出金の記録	残高
Readyfor支援金：3,326,000円	NPO法人活動諸経費：541,848円	
賛助会員費（17名）：104,000円	富士スタッフ人件費：540,600円	
寄付金：136,001円	富士プログラム開催諸経費：44,406円	
合計：3,566,001円	合計：1,126,854円	総額：2,439,147円

※ NPO法人活動諸経費は、
- 富士の定期プログラム以外の特別イベント開催諸経費
- ゲストへの謝礼やスタッフ人件費・交通費
- HP制作・運用など、事務局運営費　　などの総額になります。

※ 富士スタッフ人件費は、安定して継続的に毎週水曜に富士を開放するための、時給制スタッフ（現在1名、時給1,000円＋交通費）の金額になります。

※ より詳しい金額や今後の課題などは、2019年6月の総会にてご報告予定です。

みなさまのご支援・ご協力により、これまでにご紹介してきた一連の活動内容は、
すべて寄付金により運営することができました。あらためて、誠にありがとうございます。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの未来

これから私たちが目指していくところ

ミッションの実現のために、私たちがこれから取り組むことの一例をご紹介します。

Mission 1 患者さんが、自分の生き方を考えるための寄り添う居場所を日本中につくる

① 幸ハウス富士の開放日を増やします

現在の週1（水曜のみ）から、週2～3と徐々に増やしていき、最終的には幸ハウスを必要とする方が、来たいときにいつでも来れるような場所を目指します。

② 現場スタッフを育成する仕組みを整えます

①を実現するためには、現場スタッフの増員が欠かせません。幸ハウスの想いを大事にして、お越しいただいた方と向き合うために、スタッフとなる方には傾聴などのトレーニングを受けていただく必要があります。トレーニングの開発から、実際にスタッフを募集して育成することに取り組みます。

③ 第二の富士となる新たな場所づくりに挑戦します

この取り組みが川村病院と幸ハウス富士にとどまらないように、富士で積み上げてきたノウハウや経験を活かし、他の病院と連携した新たな幸ハウスの設立を目指します。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

幸ハウスの未来

これから私たちが目指していくところ

ミッションの実現のために、私たちがこれから取り組むことの一例をご紹介します。

Mission 2 誰もが死生観を語り合える場をつくる

① 都内や全国でも、死生観を語り合えるイベントを開催します

2018年度は、幸ハウス富士の場をお借りして、計8回のイベントを開催することができました。2019年以降は、都内や全国でもイベントを開催すること、また年12回以上の開催を目指していきます。

これまでに開催したイベントを継続的に行い、更により多くの方にご参加いただく機会をつくることはもちろんですが、新たなイベント企画や私たちと近い領域で取り組みをしている企業や団体などとのコラボレーションにも挑戦していきます。

② 子どもたちを対象にしたイベントを企画・運営していきます

私たちは、大人だけではなく、子どもたちとも、「死って何だろう？」ということを一緒に感じたり、考えたり、対話していきたいと考えています。子どもの頃、自然と身近で死に触れるような機会がある場合もあれば、死にはあまり触れることなく育っていく場合もあるでしょう。まだ、企画の段階ですが、ときには〈幸ハウス・富士〉などの場と連携しながら、子どもたちを対象としたイベントも計画しています。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

みなさまへのお願い

Support

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

みなさまにお願いしたいこと

認定NPO法人化に向けた賛助会員のお願い

病気になっても、今を大切に穏やかな日々を生きることができる。
そんな患者さんをNPO法人幸ハウスの活動を通して増やしていきたい。

また、病気になる前から、死が身近に感じる前から、
自らの死生観を気軽に語れる環境や仕組みを作ることで、

死が恐怖や不安で触れられないものではなく、死を見つめて生きるからこそ、
より輝ける自分らしい生き方ができる人を、NPOの活動を通して増やしていきたい。

このミッションを達成させるために、私たち幸ハウスは、
より厳しい要件をクリアさせないとなれない※ **認定NPO法人**を目指しています。

※現在、NPO法人全体の約２%しか、認定NPO法人と認められていません

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.

みなさまにお願いしたいこと

認定NPO法人化に向けた賛助会員のお願い

認定NPO法人の特徴

- 寄付する側もされる側も、税額控除や所得控除といった税制上の優遇を受けられる
- 認定NPO法人になるためには、「広く一般から支持を受けているか」「その活動や組織運営が適正におこなわれているか」「より多くの情報公開が行われているか」といった審査があるため、認定基準をクリアしようとすることで、法人活動の適正な制度・仕組みが整う

認定NPO法人になるためには、広く市民から支持を受けていることを示すために、
年3,000円以上の寄付者（賛助会員）の数が100名以上であることという要件があります。

幸ハウスの活動趣旨にご賛同いただき、
賛助会員というかたちでの、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

※本資料の全部または一部についての無断複製・無断転載を禁じます。 Copyright Sachi house Co. Ltd. All Rights Reserved.